



ノードの電源切断

この章では、ノードの電源を切断して Cisco ONS 15454 で行われているノードアクティビティをすべて停止する方法について説明します。

NTP-A114 ノードの電源切断

目的	この手順では、ノードのアクティビティをすべて停止します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	なし
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイト
セキュリティ レベル	ソフトウェアに関する手順については、プロビジョニング以上のレベルが必要です。ハードウェアに関する手順については、どのレベルでも実行できます。



警告

モジュールやファンを取り付けたり取り外したりするときは、空きスロットやシャーシの内側に手を伸ばさないでください。回路の露出部に触れて、感電するおそれがあります。



注意

次の手順は、ノードの電源を切断してもトラフィックの停止が最小限に抑えられるように考えられています。ただし、動作中のノードをパススルーする回線を削除して再作成する場合は、トラフィックが失われます。



(注)

ONS 15454 の作業を行う場合は、必ず付属の静電気防止用リストバンドを使用してください。リストバンド ケーブルはファントレイアセンブリにある ESD ジャックに接続するか、または NEBS 3 シェルフアセンブリのシェルフの右下外側の端にある ESD ジャックに接続してください。NEBS 3 シェルフアセンブリの ESD プラグを使用する場合は、ONS 15454 の前面扉を開きます。前面扉は感電防止のためにアースされています。

ステップ 1 電源を切断するノードを特定します。カードが取り付けられていない場合は、ステップ 14 へ進みます。カードが取り付けられている場合は、ノードにログインします。手順については、「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-71) を参照してください。

ステップ 2 ノード ビューの View メニューから、**Go to Network View** を選択します。

ステップ 3 ノードがネットワークに接続されていないことを確認します。

- a. ノードの属しているネットワークが動作中である場合は、そのノードからログアウトして、「NTP-A313 リニア ADM からの稼働中のノードの削除」(p.14-21)、「NTP-A240 BLSR ノードの削除」(p.14-7) 、または「NTP-A294 UPSR ノードの削除」(p.14-14) を実行します。ノードが Dense Wavelength Division Multiplexing (DWDM; 高密度波長分割多重) 設定の一部である場合は、『Cisco ONS 15454 DWDM Procedure Guide』を参照してください。ステップ 4 へ進んでください。
- b. ノードの接続されているネットワークが動作していなくて、現在の設定も必要でなくなった場合は、ステップ 4 へ進みます。



(注) ステップ 4 ~ 14 を省略すると、現在の設定が保存されます。

ステップ 4 ノード ビューで **Circuits** タブをクリックして回線が表示されていないことを確認し、ステップ 5 へ進みます。回線が表示されている場合は、そのノードに起点または終点があるすべての回線を、次のようにして削除します。



(注) ノードから回線を削除する場合は、どのネットワークにもノードが接続されていないことを確認してください。

- a. 削除の必要がある回線をクリックし、**Delete** をクリックします。
- b. **Yes** をクリックします。

回線が表示されなくなるまで繰り返します。

ステップ 5 ノード ビューで **Provisioning > Protection** タブをクリックし、次のようにしてすべての保護グループを削除します。

- a. 削除する必要がある保護グループをクリックし、**Delete** をクリックします。
- b. **Yes** をクリックします。

保護グループが表示されなくなるまで繰り返します。

ステップ 6 ノード ビューで **Provisioning > Comm Channels** タブをクリックし、通信チャネルの終端をすべて削除します。

- a. 削除する必要がある Section DCC (SDCC)、Line DCC (LDCC)、Generic Communications Channel (GCC)、または OSC 終端を、該当するサブタブ (SDCC、LDCC、GCC、または OSC) からクリックし、**Delete** をクリックします。

- b. **Yes** をクリックします。

SDCC、LDCC、GCC、または OSC の終端が表示されなくなるまで、この手順を繰り返します。



(注) OSC の終端を削除する前に、リング ID が削除されていることを確認してください。
Provisioning > Comm Channels > OSC タブをクリックします。リング ID を選択して **Delete** をクリックします。

- ステップ 7** 取り付けられている OC-N または DS-N カードごとに、すべてのポートを **Out-of-Service and Management, Disabled (OOS-MA,DSBLD)** サービス状態にします。
- カードビューで、**Provisioning > Line** タブをクリックします。
 - すべてのポートについて、**Status** カラムの下をクリックして **OOS,DSBLD** が選択されていることを確認します。



(注) DWDM カードの詳細については、『*Cisco ONS 15454 DWDM Procedure Guide*』を参照してください。

- ステップ 8** カードに接続されているファイバをすべて取り外します。
- ステップ 9** ノードビューで、取り付けられているカードを右クリックし、**Delete** をクリックします。
- ステップ 10** **Yes** をクリックします。
- ステップ 11** カードを削除したら、そのカードのイジェクタを開いてノードから取り外します。
- ステップ 12** 取り付けられているカードごとに、[ステップ 7 ~ 11](#) を繰り返します。



(注) Cisco Transport Controller (CTC) の TCC2 または TCC2P カードは削除できません。他のすべてのカードを削除して取り外したあとで、物理的に取り外してください。

- ステップ 13** 取り外したすべてのカードを保管し、現場の規則に従ってインベントリ レコードを更新します。
- ステップ 14** ノードに電力を供給している電源装置の電源を切断します。
- ステップ 15** ノードをその外部ヒューズ ソースから切り離します。

終了：この手順は、これで完了です。
